



あなたはここにいます

『あなたはここにいます』

2人の女性が他言語を話します。

吊り下げ型のボールランプ（大型照明）が1灯ついた、高さ8メートルの三脚型のスタンドが空間に設置され、舞台空間となります。

そのボールランプの下には、2人のパフォーマーがおり、その周りを囲むように100席の観客席を設置します。

観客とパフォーマーは近距離にいて、光に包まれた空間の中で時間を共有します。

それは、空間の中に孤立していながらも強く結ばれている一つの「光の泡」のようです。
「夜」。



すべては、穏やかで、シンプルです。

お互いの目を見て、互いに「あなた」と言い、互いへ心に向けて話します。

私たちは一緒にいます。

そして、2人のパフォーマーが一つの物語を語ります。

それぞれの言語で話します。

物語の中で、2つの言語は、同時に/ かわるがわる/ 時には交わりながら/ 重なり合いながら、踊るように... 語られます。

2人のパフォーマーはよく知られているあの物語...の話をします。

ほとんどの人が知っているあの話です。

すべてが二人称で語られます。

「あなた」

と。

ここに出てくる、すべての登場人物というのは「あなた」、そこにいる「あなた」、きいてくださっている「あなた」、そのすべての「あなた」であり、物語のなかで語られるそれぞれの登場人物となります。

「あなた」は、善人や悪人、年寄りや子供、死ぬ者、勝つ者...様々な人の皮膚の感覚の中へと溶けこみます。

すべてが「あなた」であり、「あなた」はすべての登場人物でもあるのです。

「あなた」こそが、そして「あなた」の隣の人も同様に、物語のすべてなのです。

そして、物語は「あなた」の言語で、「あなた」の目の奥へと、真摯に語られます。

「あなた」がわからない別の言語でも、同じように「あなた」の奥へ向かって語られるでしょう。



下降してゆく照明

ゆっくりと時間をかけ、とても穏やかに静かに動くので、「あなた」はそのことに気づきもしないでしょう。

ボールランプは地面へと近づいていきます。

照明は、地面、パフォーマー、「あなた」へと近づきます。

下降していく照明は、目には見えないようなスピードで、少しずつ動きます。

角度を変えながら、様々なものを照らしてゆきます。「あなた」は、視界にあったものや、周りの人がだんだん見えなくなるでしょう。

すべてがゆっくりと、とても段階的でありながらも、確実に動いていきます。

「あなた」の中のある認識は、完全に変化を成すこととなるでしょう。

少しずつパフォーマーが、光の中を進んでいくと、空間が埋っていきます。

ゆっくりと、パフォーマーの顔がぼやけ、細部が見えなくなっていくます。

ゆっくりと、一緒にいる観客の顔が見えてくるでしょう。

ゆっくりと、私たちの距離は近づき心の密度はだんだん大きくなるでしょう。

火を囲んでいるようです。



大切なこと

2人のパフォーマーは、それぞれの言葉で物語を語りますが、はじめに、この物語を語ることはある口実にすぎないのだと、「あなた」へと伝えます。

しかも、かなりしつこく、細かくそのことについて話します。

話から逸れたり、余談に耽ったりします。

「ここ」で何より大切なことは、話の筋ではなくて、この状況なのです。

「あなた」「2人のパフォーマー」「他の人たち」は、

「一緒に」

「ここに」

「まるで火のそばにいるように」

という状況にいます。

そして本当に大切なことは、「そこに生きる」ということです。

寄り添い、お互いを大切にすること。

同じ場所に居るということ。

そして、私たち一人一人にとって「大切なこと」が何であるかを見つけようと、それぞれに問いかけます。



場所に関して大切なこと

場所に関して専門的な技術は必要としておらず、会場準備に必要な作業としては、大きな球体の照明器具（ボールランプ）が吊られている三脚型のスタンドをベースとした装置1台と、照明を囲むように設置する観客用の椅子のみです。

ボールランプの照明は、充電式のバッテリーにつなぎ点灯させます。

椅子は折りたたみ式で、小型トラックやバンに収納できます。

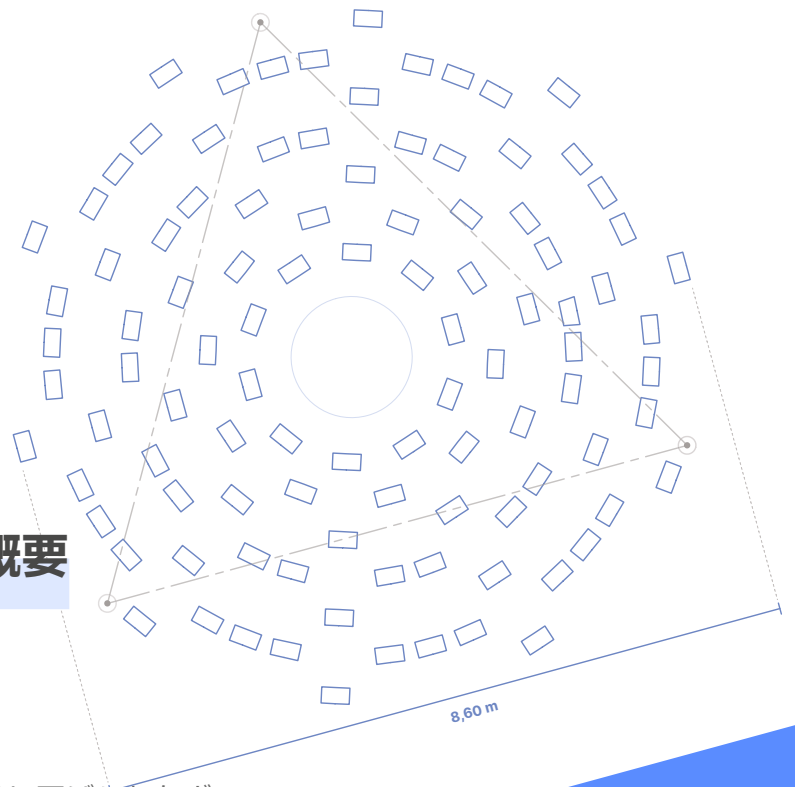
照明器具と椅子の設置は1時間程度で行うことができ、撤収作業も短時間で行うことが可能です。

一方で、どのような場所がふさわしいかについては、丁寧に検討する必要があります。

広い場所、空が見える場所、夜であること、空間が浮き彫りになるような場所、屋上、スタジアムのグラウンド、工場の中庭、円形交差点の中心部、畑、閉鎖中の公園、空き地、建設現場等の場所が挙げられます。

演出上、静かな場所であることは必要条件ではなく、街中の広場や、街中の一角のような場所も候補として挙げられます。





演出/テクニカル面に関する概要

上演時間：1 時間弱

舞台装置：

- 高さ 8 m の三脚型のスタンドの頂点から吊り下げられたボールランプ（大型照明）
- 100 席の折りたたみ式椅子
 - 外径 8,6メートルの円形の放射線状に観客席として設置
 - ※ 地面の状態が平地であることが望ましい

上演回数：1 回、もしくは 2 回

上演時間：夜間、もしくは陽が沈む直前の時間

※ 夏、冬、雨天、晴天の天候に関わらず上演を行う

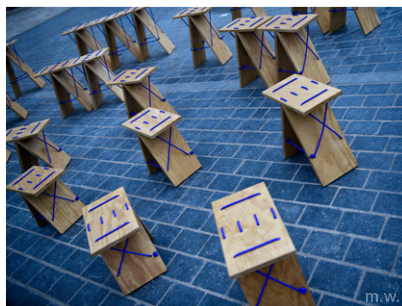
上演準備について：

- ・ 上演前、少なくとも 2 時間の準備時間が必要
- ・ 夜、冬、構わず、上演場所における電力は必要なし
- ・ 舞台設置、ばらしは、すべてフランスからのチームで行われ、設置に 2 時間、ばらしに 1 時間半程度かかる
- ・ ツアーチームのメンバー人数は 5 人

※さらなる詳細につきまして、ご質問、ご要望ございましたら、お気軽にご連絡ください。



photos m.w. de Michel Wiart



プロジェクトチームについて

『あなたはここにいます』は、世界各国で上演することを目的に制作された作品です。2人のパフォーマーは、公演開催地である現地の言語を話すパフォーマーと、別の言語を話すパフォーマーという組み合わせで行われます。

2023年は、フランス語と日本語、フランス語とスペイン語、スペイン語と日本語の3つのバージョンで作品制作、上演が行われました。なお、他の言語でのバージョンも制作予定です。

カンパニークタのスタッフ全員の役割については表記しませんが、私たちはチーム全体で「一緒に」この作品をつくりあげます。

Elvire Beugnot (エルヴィール・ブニョ) / Cécile Bock (セシル・ボック) /
Marie Gosnet (マリー・ゴネ) / Katherine King (カトリンヌ・キング) /
Yann Le Bras (ヤン・ル・ブラス) / Laetitia Lafforgue (レティシア・ラフォーク) /
Lear Packer (リア・パッカー) / Yukino Narasaki (ならさき ゆきの) /
Nicolas Vercken (ニコラス・ヴェルケン) .

カンパニークタは、文化省、イル・ド・フランス地域圏、パリ市の助成を受けています。

協賛・協力

**L'Usine – CNAREP de Tournefeuille / Toulouse Métropole, L'Abattoir – CNAREP de
Chalon-sur-Saône, Les Passerelles / Par Has'Art, Art'R – Lieu de fabrique itinérant pour
les arts de la rue à Paris et en Île-de-France, Les Noctambules – Lieu de fabrique à
Nanterre. Avec le soutien de, l'Institut Français, la ville de Paris, le TDI / collectif Curry
Vavart, le Centre de création Nil Obstrat, Rue Watt / coopérative De Rue et De Cirque.**

La ktha compagnie est conventionnée par la DRAC Île-de-France et la Mairie de Paris

『あなたはここにいます』の物語文より抜粋

« Tu es là.

Je vais te raconter une histoire.

Mais d'abord, tu dois savoir que c'est un prétexte, cette histoire.

Un prétexte pour te dire d'autres choses.

Pour te dire les choses que je trouve importantes.

Essentielles.

En fait, c'est plus simple encore que ça.

C'est juste un prétexte pour être là.

Là.

Pour être avec toi.

Et puis ensemble.

Surtout.

Ensemble. »

« あなたはここにいます。

私はあなたに一つの話します。

でもはじめに、あなたはこの話しは、ある口実だ、ということを知っていないといけません。

あなたに他のことを伝えるための口実。

私が大切だと思うことをあなたに言うために。

必要不可欠な事。

それは、こんな説明よりももっとシンプルなことなんです。

ここに居るための、ただの口実なんです。

ここ。

あなたと居るために。

そして一緒に。

とにかく

一緒に。 »

« Estás aquí.

Te voy a contar una historia.

Pero primero, tienes que saber que es un pretexto, esta historia.

Un pretexto para decirte otras cosas.

Para decirte las cosas que creo importantes.

Esenciales.

De hecho, es aún más simple.

Es solo un pretexto para estar aquí.

Aquí.

Para estar contigo.

Y también juntos.

Sobre todo.

Juntos. »

ktha クタ

ktha（クタ）はフランス国内外で野外公演を展開する劇団です。

各公演ごとに、都市空間に入り込むオリジナルの戯曲を制作し、舞台美術等の要素も含め、特別な演出をします。

あらゆる作品の中で私たちと観客は出会うこととなります。「本当に」出会うのです。

コンテナの中や移動中のトラックの裏、屋根の上、地下通、駐車場、スタジアムの芝生、地下鉄など、劇場外の様々な場所で私たちの舞台空間は広がっています。

Ktha（クタ）はパリ市、イルド フランス地域、文化省等の助成を受け、パリを拠点とし、ヨーロッパの各国をはじめ、チリ、ブラジル、カナダ、韓国、カンボジア、モロッコ、トルコなど、国際的にプロジェクトを行っています。





ktha compagnie
40 rue des amandiers
75020 paris
+ 33 (0)1 42 62 42 49
ktha.org — ktha@ktha.org